

KOSHI NEWS

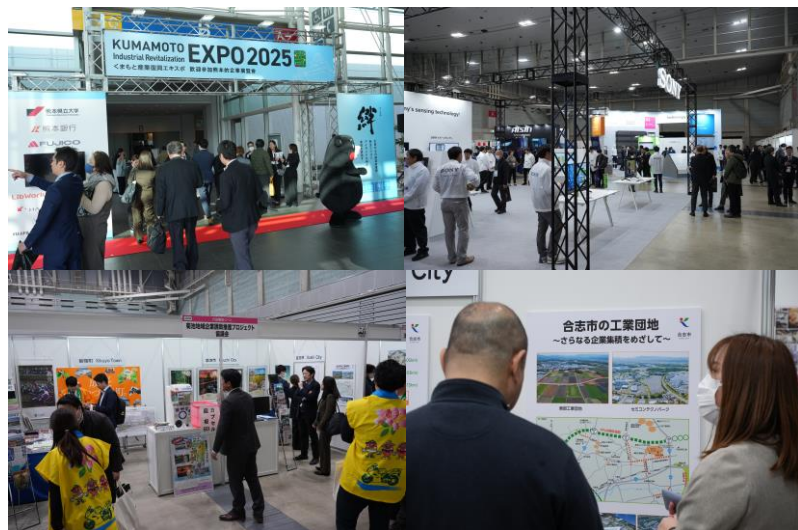
令和7年 春号



“稼げる市”を目指し、攻めの姿勢で 令和 7 年度スタート

4 月 1 日、令和 7 年度が始まり、合志市役所では、辞令交付や『令和 7 年度始め式』を行ないました。

式では、荒木市長が職員を前に、「地域経済の発展に向けて、“稼げる市”を目指し、農業施策の推進や企業誘致など、攻めの姿勢で取り組んでいきましょう」と訓示しました。また、新規採用職員 15 人も出席し、緊張の面持ちで自己紹介をしました。



産業に関する発信と地域の魅力を P R

『くまもと産業復興エキスポ』

2 月 20・21 日、益城町のグランメッセ熊本で『くまもと産業復興エキスポ』が開催されました。半導体など県内の産業について発信する催しです。

会場内には、県内の各企業や、関連団体などがブースを開設する中、合志市をはじめ菊池地域 4 市町も出展しました。担当者は、企業誘致などを進めるため、各地域の魅力を P R しました。



先天性難病の男性が表敬訪問

就職決定し「アプリを開発したい」

3 月 12 日、合志市在住で、生まれつき骨が弱い『骨形成不全症』を乗り越え、就職が決まった木佐貫美貴さんが、市役所を表敬訪問しました。

県の支援事業でプログラミングを学び、エンジニア派遣の会社に就職することを報告した木佐貫さん。荒木市長や幹部職員を前に、「アプリを開発したい」と意気込みを語りました。



少し遅めの“梅花麗し” 春の訪れを告げる枝垂れ梅

3月初旬、合志市の民家の枝垂れ梅が見頃を迎えました。例年見頃となるのは2月ですが、お住まいの方のお話では、「今年は1か月程度遅い」ということでした。凜として咲き誇る枝垂れ梅の周りには、甘い香りが漂い、優美な雰囲気包まれていました。

合志市内では、2月末から3月初旬にかけて、各地で梅の花が見頃を迎えました。



市民が集う場所へ 御代志地区に民間商業施設

合志市が進める御代志土地区画整理事業のB4街区に、公募で選ばれた民間企業による新たな商業施設『SPring Garden MIYOSHI（スプリングガーデン御代志）』が開業しました。3月27日の竣工式で、荒木市長は、「こどもたちをはじめ、市民が集う場所になって欲しい」と挨拶しました。

4月4日には、合志市と包括連携協定を結んでいる熊本銀行が、施設内に『合志ローンセンター御代志プラザ』を開設しました。



中九州横断道路の一部 『熊本環状連絡道路』事業化決定

4月1日、中九州横断道路の一部となる『熊本環状連絡道路』の事業化決定を受けた式典が県庁で行なわれました。式典では、荒木市長、木村敬県知事、大西一史熊本市長がくす玉を割って、今回の事業化決定を祝いました。

連絡道路は、合志市を含む区間の『大津熊本道路』と熊本市西部を走る『熊本西環状道路』を繋ぎ、整備後の物流機能強化や、渋滞の緩和が期待されています。



世界に興味を持ち、さまざまなことにチャレンジを

竹田麗央選手が世界の絵本寄贈

本市出身のプロゴルファーで、『合志市ふるさと大使』の竹田麗央選手が、市内の保育施設などに世界の絵本を贈り、3月18日、合志市役所で贈呈式を開催しました。今年からアメリカツアーに参戦し“世界の舞台”に挑戦している竹田選手。世界中の絵本を子どもたちに届けるサービスを展開する株式会社ワールドライブラリー（本社・東京都）の“絵本をひろくと、世界がひろく”というコンセプトに共感。『竹田麗央のえほんスマイルプロジェクト～熊本から世界へ～』に取り組む中で、「合志市の子どもたちにも、世界に興味を持ち、さまざまな事に挑戦してもらいたい」という思いから、同社が手がける世界の絵本の贈呈を申し出ました。

贈呈式では、竹田選手から「私は、こどもの頃にゴルフを始め、海外の試合を見ることで“世界で頑張ってみたいな”と思いました。子どもたちが世界に興味を持つことを願っています」とメッセージが寄せられました。そして、代理出席した、竹田選手の父・宜史さんが、「世界の絵本から入ってくる情報に

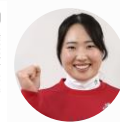
興味を持って、さまざまなことにチャレンジして欲しいと思います」と挨拶し、こどもたちの代表に目録を渡しました。こどもたちの代表は、「たくさんの絵本をありがとうございました。みんなで仲良く読みたいと思います」とお礼の言葉を述べました。また、合志市から竹田選手に感謝状を贈りました。

贈呈式の後には、リーディングイベント『ワールドライブラリーツアー』を行いました。こどもたちは世界中を旅するように、さまざまなことをクイズ形式で学んだ後、アメリカの絵本の読み聞かせを楽しみました。

竹田選手の最新情報はこちら
(竹田選手Instagram)



@RIO_TKD402



合志市制施行20周年記念ロゴマークが決定

合志市は、令和8年2月27日に市制施行20周年を迎えます。この特別な令和7年度の1年、さまざまな事業やイベントで使用するロゴマークを広く募集しました。12月～1月の募集期間中、34点の作品の応募があり、厳正な審査の結果、市制施行20周年記念ロゴマークを決定しました。

選ばれたのは、崇城大学2年生（応募時は1年生）の西田桜さんの作品です。

西田さんによりますと、デザインのコンセプトは、「子育て支援が手厚く、市の花であるカスミソウの花言葉に“赤ちゃんの吐息”とあることから、親子を囲う



ようにカスミソウを配置しました。また、市の基本理念である“人と自然を大切にした協働によるまちづくり”をもとに緑の円形を配置しました」ということです。

3月27日にはロゴマークのお披露目式を行ない、荒木市長は、「市制施行20周年をお祝いするためにロゴマークを使わせていただきます」と挨拶し、西田さんに感謝状などを贈りました。

今後、ロゴマークは、合志市において作成するポスター、チラシ等に掲載するほか、市民や団体、企業などが行なう『合志市制施行20周年記念』などの冠称事業で使用する予定です。

学校のわだい

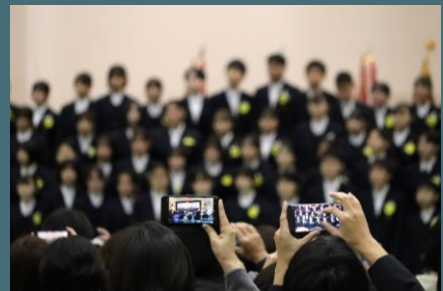
2月末～4月初めにかけての
合志市のこどもたちの様子を
広報担当職員が撮影した
写真でご紹介します



開校150周年記念事業の一環で行なわれた、タイムカプセル埋蔵。開封するのは、開校200周年の時です。児童91人は、それぞれ書いた50年後の自分への手紙、習字作品、クラス写真などを収め、“50年後の再会”を約束しました。



二月二十一日
西合志第一小学校で
タイムカプセル埋蔵



合志市内の各中学校で行なわれた卒業式。保護者たちは、成長した我が子が卒業証書を受け取る様子を感じ深そうに見つめたり、スマートフォンで写真や動画を収めたりしました。21日には、小学校で卒業式が行なわれました。



三月七日
中学校で卒業式



新入生たちの門出を祝うように快晴となった小学校の入学式。合志楓の森小学校では、新1年生118人が体育館に元気良く入場し、代表の児童が教科書を受け取るなど、小学校生活をスタートさせました。同日、中学校でも入学式が行なわれました。



四月九日
小学校で入学式



今年も華やかな雰囲気 合志市の桜満開

3月23日、熊本県内は桜の開花が発表されました。その後、合志市内の各地でも桜の花が咲き始め、3月末から4月初めにかけて見頃を迎えました。

このうち、国立療養所菊池恵楓園の入所者の皆さんが大切に育て、令和4年に一般公開された、熊本電鉄御代志駅横の桜並木は、今年も美しい花が咲き誇り、華やかな雰囲気に包まれました。中には、並木を背景に小学校入学の

記念写真を撮る姿が見られたほか、台湾から移り住んだ、半導体世界最大手・TSMCの駐在員の家族が“合志市の春”を楽しむ様子も見られました。

合志市では、桜の花が楽しめる主な公共の場所について子育て世帯を中心に増える転入者をはじめ多くの人に紹介する『合志市さくらマップ』を月刊広報紙・広報こうし3月号に掲載し、好評を得ました。



広報こうし3月号
合志市さくらマップ



合志市
ホームページ



合志市公式X
(旧Twitter)



発行 熊本県合志市企画課

KOSHI NEWS

令和7年春号